

1. 令和3年度事業活動収支計算書

(決算規模888億円)

1. 基本金組入前当年度収支差額においては、101億5,400万円の収入超過となりました。
2. 基本金組入額を46億4,900万円計上しました。

(単位:千円)

No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金	28,104,701	27,738,129	366,572
2	手数料	1,482,757	1,324,989	157,768
3	寄付金	813,848	848,143	△ 34,295
4	経常費等補助金	6,128,660	14,076,352	△ 7,947,692
5	付随事業収入	1,245,570	1,043,140	202,430
6	医療収入	40,649,123	39,852,038	797,085
7	雑収入	1,534,073	1,869,530	△ 335,457
8	教育活動収入計	79,958,732	86,752,321	△ 6,793,589
9	人件費	42,444,359	40,519,850	1,924,509
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,460,889)	(2,525,258)	(△ 64,369)
11	教育研究経費	33,275,035	33,961,778	△ 686,743
12	(うち減価償却額)	(5,476,628)	(5,725,508)	(△ 248,880)
13	管理経費	3,747,633	3,623,709	123,924
14	(うち減価償却額)	(389,174)	(394,323)	(△ 5,149)
15	徴収不能額等	0	3,492	△ 3,492
16	教育活動支出計	79,467,027	78,108,829	1,358,198
17	教育活動収支差額(8-16)	491,705	8,643,492	△ 8,151,787
18	受取利息・配当金	923,705	1,056,609	△ 132,904
19	その他の教育活動外収入	38,000	44,000	△ 6,000
20	教育活動外収入計	961,705	1,100,609	△ 138,904
21	借入金等利息	99,486	101,378	△ 1,892
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	99,486	101,378	△ 1,892
24	教育活動外収支差額(20-23)	862,219	999,231	△ 137,012
25	経常収支差額(17+24)	1,353,924	9,642,723	△ 8,288,799
26	資産売却差額	0	322,381	△ 322,381
27	その他の特別収入	78,722	592,007	△ 513,285
28	特別収入計	78,722	914,388	△ 835,666
29	資産処分差額	0	359,172	△ 359,172
30	その他の特別支出	2,486	43,854	△ 41,368
31	特別支出計	2,486	403,026	△ 400,540
32	特別収支差額(28-31)	76,236	511,362	△ 435,126
33	[予備費]	(465,017)		41,547
34	基本金組入前当年度収支差額(25+32-33)	1,388,613	10,154,085	△ 8,765,472
35	基本金組入額合計	△ 8,645,048	△ 4,649,112	△ 3,995,936
36	当年度収支差額(34+35)	△ 7,256,435	5,504,973	△ 12,761,408
37	前年度繰越収支差額	△ 29,262,453	△ 26,397,917	△ 2,864,536
38	基本金取崩額	0	339,764	△ 339,764
39	翌年度繰越収支差額(36+37+38)	△ 36,518,888	△ 20,553,180	△ 15,965,708
40	事業活動収入計(8+20+28)	80,999,159	88,767,318	△ 7,768,159
41	事業活動支出計(16+23+31+33)	79,610,546	78,613,233	997,313

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、3年度は86億4,300万円の収入超過となりました。予算に対して経常費等補助金が79億4,800万円増加、医療収入が7億9,700万円減少しました。

経常的な収支バランスを見ることができ、3年度は96億4,300万円の収入超過となりました。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、3年度は5億1,100万円の収入超過となりました。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり、予算に対して施設・設備関係支出が減少したことにより減少しました。

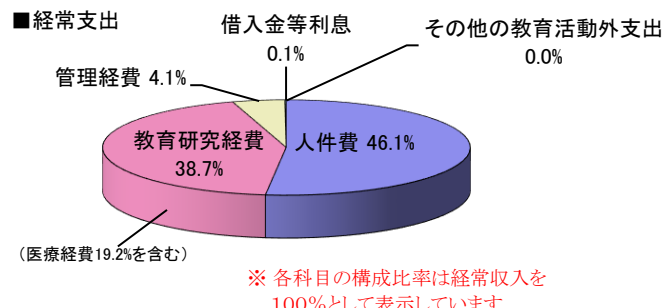
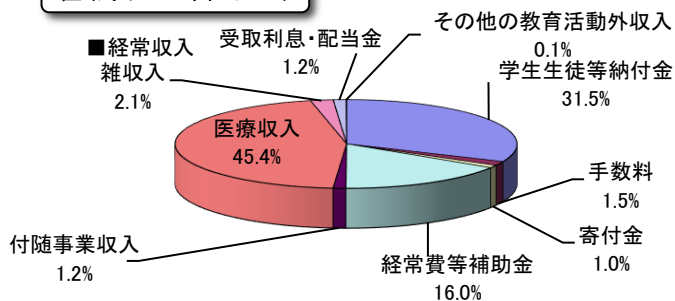
経常費等補助金のうち、コロナ関係補助金は75億2,700万円となりました。

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、3年度は9億9,900万円の収入超過となりました。

毎年度の収支バランスを見ることができ、従来の帰属収支差額です。3年度は101億5,400万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものです。3年度は55億500万円の収入超過となりました。

経常収入に対する比率



【事業活動収支決算の概要(予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

- No. 4 経常費等補助金 ↑ コロナ関係補助金および授業料減免費交付金の増額。
- No. 6 医療収入 ↓ 福大病院・西新病院の入院および外来患者の減少。

《支出の部》

- No. 9 人件費 ↓ 教職員数の差異等による減少。
- No. 11 教育研究経費 ↑ 筑紫病院の医療経費(薬物・医療材料)の増加。

・ No. 34基本金組入前当年度収支差額 (No. 40事業活動収入-No. 41事業活動支出) は、101億5,400万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率 (No. 34基本金組入前当年度収支差額÷No. 40事業活動収入) は、11.4%となっています。

・ 人件費比率 (No. 9人件費÷経常収入 [No. 8教育活動収入+No. 20教育活動外収入]) は46.1%となり、前年度より4.4ポイント低くなっています。

2. 令和3年度資金収支計算書

(決算規模1,981億円)

(単位:千円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院の医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した場合の収入額

収入の部				
No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金収入	28,104,701	27,738,129	366,572
2	手数料収入	1,482,757	1,324,989	157,768
3	寄付金収入	823,038	915,926	△ 92,888
4	補助金収入	6,198,192	14,498,079	△ 8,299,887
5	資産売却収入	0	70,694,786	△ 70,694,786
6	付随事業・収益事業収入	1,283,570	1,087,140	196,430
7	医療収入	40,649,123	39,852,038	797,085
8	受取利息・配当金収入	923,705	1,056,608	△ 132,903
9	雑収入	1,534,073	1,880,409	△ 346,336
10	借入金等収入	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
11	前受金収入	5,242,398	5,264,791	△ 22,393
12	その他の収入	26,824,707	28,028,308	△ 1,203,601
13	資金収入調整勘定	△ 13,547,838	△ 16,119,627	2,571,789
14	前年度繰越支払資金	18,161,001	16,847,453	1,313,548
15	収入の部合計	121,679,427	198,069,029	△ 76,389,602

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

支出の部				
No.	科目	予算	決算	差異
16	人件費支出	42,169,181	40,209,396	1,959,785
17	教育研究経費支出	27,798,407	28,243,165	△ 444,758
18	管理経費支出	3,360,945	3,243,351	117,594
19	借入金等利息支出	99,486	101,378	△ 1,892
20	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
21	施設関係支出	6,946,981	6,452,335	494,646
22	設備関係支出	1,526,815	2,123,625	△ 596,810
23	資産運用支出	7,158,861	88,002,542	△ 80,843,681
24	その他の支出	20,849,778	20,806,573	43,205
25	[予備費]	(501,235) 7,000		7,000
26	資金支出調整勘定	△ 5,836,886	△ 6,412,545	575,659
27	翌年度繰越支払資金	17,030,709	14,731,059	2,299,650
28	支出の部合計	121,679,427	198,069,029	△ 76,389,602

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

【資金収支決算の概要(予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

《支出の部》

No. 4 補助金収入 ↑ コロナ関係補助金および授業料減免費交付金の増額。
No. 5 資産売却収入 ↑ 有価証券の満期および早期償還、金銭信託の満期。
No. 10 借入金等収入 ↑ 福大病院の借入金の増額。

No. 16 人件費支出 ↓ 教職員数の差異等による減少。
No. 17 教育研究経費支出 ↑ 筑紫病院の医療経費(薬物・医療材料)の増加。
No. 21 施設関係支出 ↓ 建物支出(建設仮勘定含む)の減少。
No. 22 設備関係支出 ↑ 福大病院・筑紫病院の機械器具支出の増加。
No. 23 資産運用支出 ↑ 有価証券および金銭信託の購入。

[資金収支規模と翌年度繰越支払資金]

- ・資金収支決算の合計は1,981億円で、前年比376億円の財政規模拡大となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は147億円で、前年比21億円の減少となっています。

(令和3年度に取得した主な施設・設備)

(施設関係) (建物・構築物・建設仮勘定)

- 福岡大学病院新本館(仮称)新築工事
- 体育寮(男子寮)新築工事
- 福岡大学病院新本館(仮称)新築工事に伴う設備盛替他工事
- 文系センター高層棟西側各階トイレ改修工事

3. 令和3年度活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

No.		科 目	金 額	
1	教育活動による資金収支	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	27,738,129	
2		手 数 料 収 入	1,324,989	
3		特 別 寄 付 金 収 入	835,666	
4		経 常 費 等 補 助 金 収 入	14,076,352	
5		付 随 事 業 収 入	1,043,140	
6		医 療 収 入	39,852,038	
7		雑 収 入	1,869,367	
8		教 育 活 動 資 金 収 入 計	86,739,681	
9		支 出	人 件 費 支 出	40,209,396
10			教 育 研 究 経 費 支 出	11,324,367
11			医 療 経 費 支 出	16,918,798
12			管 理 経 費 支 出	3,227,118
13		教 育 活 動 資 金 支 出 計	71,679,679	
14		差 引 (8-13)	15,060,002	
15		調 整 勘 定 等	△ 1,636,508	
16		教 育 活 動 資 金 収 支 差 額 (14+15)	13,423,494	
17	施設整備等活動による資金収支	科 目	金 額	
18		収 入	施 設 設 備 寄 付 金 収 入	80,260
19			施 設 設 備 補 助 金 収 入	421,727
20			施 設 設 備 売 却 収 入	75,001
21			第2号基本金引当特定資産取崩収入	812,226
22			引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	1,474,549
23		施 設 整 備 等 活 動 資 金 収 入 計	2,863,763	
24		支 出	施 設 関 係 支 出	6,452,335
25			設 備 関 係 支 出	2,123,625
26			第2号基本金引当特定資産繰入支出	2,500,000
27			引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	10,469,179
28		施 設 整 備 等 活 動 資 金 支 出 計	21,545,139	
29		差 引 (22-27)	△ 18,681,376	
30		調 整 勘 定 等	△ 374,792	
31		施 設 整 備 等 活 動 資 金 収 支 差 額 (28+29)	△ 19,056,168	
32		小 計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) (16+30)	△ 5,632,674	
33	その他の活動による資金収支	科 目	金 額	
34		収 入	借 入 金 等 収 入	5,000,000
35			有 価 証 券 売 却 収 入	19,764,184
36			金 銭 信 託 売 却 収 入	50,855,600
37			引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	2,269,412
38			そ の 他 の 収 入	14,621,702
39			小 計	92,510,898
40			受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	1,056,608
41			収 益 事 業 収 入	44,000
42			過 年 度 修 正 収 入	11,042
43			そ の 他 の 活 動 資 金 収 入 計	93,622,548
44		支 出	借 入 金 等 返 済 支 出	568,150
45			有 価 証 券 購 入 支 出	19,484,113
46			金 銭 信 託 支 出	50,892,483
47			第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,500,000
48			引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	3,156,236
49	そ の 他 の 支 出		14,388,981	
50	小 計	89,989,963		
51	借 入 金 等 利 息 支 出	101,378		
52	過 年 度 修 正 支 出	16,233		
53	そ の 他 の 活 動 資 金 支 出 計	90,107,574		
54	差 引 (41-51)	3,514,974		
55	調 整 勘 定 等	1,306		
56	そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額 (52+53)	3,516,280		
57	支 払 資 金 の 増 減 額 (小計+その他の活動資金収支差額) (31+54)	△ 2,116,394		
58	前 年 度 繰 越 支 払 資 金	16,847,453		
59	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	14,731,059		

【教育活動による資金収支】
本業である教育活動の収支状況をキャッシュベースで見えるものです。

【施設整備等活動による資金収支】
当該年度に施設設備の購入がどれだけあり、財源がどうであったかを見るものです。

【その他の活動による資金収支】
借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見るものです。

○活動区分資金収支計算書について

令和3年度決算では、No.16 教育活動資金収支差額は134億2,300万円の収入超過、No.30施設整備等活動資金収支差額は190億5,600万円の支出超過になり、合計は56億3,300万円の支出超過になりました。また、No.54 その他の活動資金収支差額は35億1,600万円の収入超過となり、その結果令和3年度の支払資金の減少額は21億1,600万円になりました。

4. 貸借対照表

(決算規模2,548億円)

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	228,448,979	213,476,778	14,972,201
有 形 固 定 資 産	122,169,025	120,007,560	2,161,465
土 建	20,434,499	20,508,229	△ 73,730
構 築 物	63,619,792	65,418,574	△ 1,798,782
造 作	3,912,432	3,963,052	△ 50,620
教育研究用機器備品	0	14	△ 14
管理用機器備品	10,116,077	10,583,825	△ 467,748
図 書	132,973	115,356	17,617
車 両	17,033,806	16,955,672	78,134
土地購入前渡金	88,644	48,203	40,441
建設仮勘定	0	0	0
建設仮勘定	6,830,802	2,414,635	4,416,167
特 定 資 産	104,157,704	91,088,477	13,069,227
第2号基本金引当特定資産	7,874,717	6,186,943	1,687,774
第3号基本金引当特定資産	5,500,000	4,000,000	1,500,000
第4号基本金引当特定資産	5,818,000	5,818,000	0
その他の特定資産	84,964,987	75,083,534	9,881,453
そ の 他 の 固 定 資 産	2,122,250	2,380,741	△ 258,491
電話加入権等	125,088	123,624	1,464
収益事業元入金	787,289	787,289	0
貸付金	7,313	15,036	△ 7,723
貸与奨学金	995,971	1,192,132	△ 196,161
預託金	70,921	70,908	13
差入保証金	49,647	49,647	0
長期前払金	86,021	142,105	△ 56,084
流 動 資 産	26,304,499	26,525,442	△ 220,943
現金預金	14,731,059	16,847,453	△ 2,116,394
未収入金	11,045,482	8,959,051	2,086,431
材 料	123,956	106,320	17,636
貯 蔵 品	7,679	7,939	△ 260
立 替 金	4,159	4,867	△ 708
短期前払金	392,105	598,902	△ 206,797
仮 払 金	59	910	△ 851
資 産 の 部 合 計	254,753,478	240,002,220	14,751,258

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備(空調等)の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

決算日(3月31日)における補助金等の未収額のことです。

(単位：千円)

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	29,474,128	24,855,396	4,618,732
長期借入金	9,281,650	4,849,800	4,431,850
長期未払金	455,109	578,681	△ 123,572
退職給与引当金	19,737,369	19,426,915	310,454
流 動 負 債	13,166,487	13,188,046	△ 21,559
短期借入金	568,150	568,150	0
短期未払金	5,943,066	6,087,145	△ 144,079
前受金	5,264,791	5,169,418	95,373
預り金	1,380,521	1,353,330	27,191
仮受金	9,959	10,003	△ 44
負 債 の 部 合 計	42,640,615	38,043,442	4,597,173
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	232,666,043	228,356,695	4,309,348
第1号基本金	213,473,326	212,351,752	1,121,574
第2号基本金	7,874,717	6,186,943	1,687,774
第3号基本金	5,500,000	4,000,000	1,500,000
第4号基本金	5,818,000	5,818,000	0
第1号(施設・設備取得) 自己資金で購入した施設設備費の累計額。 第2号(計画組入) 将来の施設設備取得のための積立金。 第3号(各種基金) 奨学金基金等として保持している金額。 第4号(運転資金) 恒常的に保持すべき資金の額(1ヵ月分の運転資金)。			
繰越収支差額	△ 20,553,180	△ 26,397,917	5,844,737
翌年度繰越収支差額	△ 20,553,180	△ 26,397,917	5,844,737
純 資 産 の 部 合 計	212,112,863	201,958,778	10,154,085
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	254,753,478	240,002,220	14,751,258

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

財産的な基盤となる額のことです。学校法人福岡大学が安定的かつ永続的に存続していくために必要な額です。

3年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額の額のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等の額のことです。

事業活動収支計算書の当年度収支差額の累計額を表します。長期的な収支の均衡を判断する指標となります。

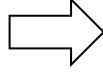
学校法人福岡大学の財政状態を分かりやすく見るために、それぞれを構成比で表しました。

※令和4年3月31日現在の財政状態

(貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部
固定資産	有形固定資産	固定負債
	特定資産	流動負債
	その他の固定資産	純資産の部
流動資産		基本金
		繰越収支差額

※資産＝負債＋純資産



資産の部	負債の部
有形固定資産 48.0	借入金等 6.9
	退職給与引当金 7.7
特定資産 40.9	前受金 2.1
	純資産の部
その他の固定資産 0.8	第1号 83.8
流動資産 10.3	第2号 3.1
	第4号 2.3
	第3号 2.2
	繰越収支差額 △8.1

負債 16.7

基本金 91.4
学校法人福岡大学が存続していくために必要な額です。
第3号 2.2
繰越収支差額 △8.1

【貸借対照表の概要（前年度末との比較）】 (注：↑…増加を示す ↓…減少を示す)

(資産の部) 資産総額は147億5,100万円の増加。

- 特定資産 ↑
その他の特定資産の増加。

(負債の部) 負債総額は45億9,700万円の増加。

- 長期借入金 ↑
福大病院の借入金による増加。

(純資産の部) 純資産総額は101億5,400万円の増加。資産総額に占める純資産（自己資金）の割合は83.3%で0.8ポイント減少。

- 第2号基本金 ↑
第2号基本金組入れ計画による組入れ。
- 第3号基本金 ↑
第3号基本金組入れ計画による組入れ。
- 繰越収支差額
翌年度繰越収支差額をマイナス205億5,300万円計上。

【学校法人会計の豆知識】

・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 収入支出ごとに一覧表示になっており、予算管理に適した計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
- ③ 資金収支計算書を基に作成する「活動区分資金収支計算書」は、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持ち、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

(3) 貸借対照表

- ① 年度末における資産・負債・純資産を表します。
- ② 財政状態の健全性、必要資産の保有状況、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。